

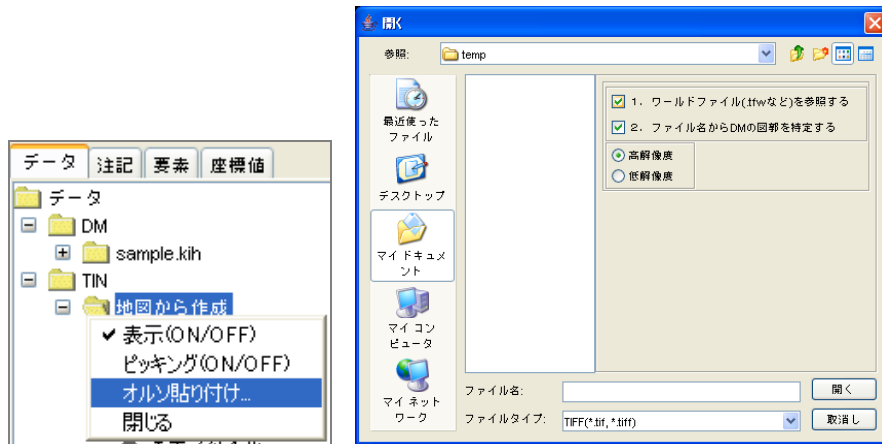
1. インストール説明書に JAI のインストールを追加しました。

TIN に TIFF などのオルソ画像を貼り付ける機能を追加しましたが、TIFF をリードするために JAI (Java Advanced Imaging) をインストールする必要があります。詳しくはインストール説明書を参照してください。

2. オルソ貼り付け

新機能[オルソ貼り付け]を追加しました。
 以下は、操作説明書からの抜粋です。

オルソ画像を TIN に張り付けます。DM データから作成した TIN あるいはファイルからリードした TIN が対象です。TIN データ毎にオルソ画像ファイルを指定します。ひとつの TIN データに複数のオルソ画像ファイルを指定することができます。



【ワールドファイル(tfw など)を参照する】 オルソ画像についてワールドファイルがあれば、これから貼り付ける範囲を取得します。ワールドファイルの座標値は平面直角座標系のメートル単位とします。

イメージ	イメージの拡張子	ワールドファイルの拡張子
TIFF	*.tif *.tiff	*.tfw
JPEG	*.jpg *.jpeg	*.jgw
GIF	*.gif	*.gfw

【ファイル名から DM の図郭を特定する】 オルソ画像のファイル名から、同じ名前の DM が開いてある場合、その DM の図郭の範囲をオルソ画像を貼り付ける範囲とします。

例：DM ファイル名[sample.kih]、イメージファイル名[sample.tif]の場合、イメージを図郭全体に貼り付けます。また、イメージファイル名が DM ファイル名+数値の場合、図郭を 4 分割した範囲に貼り付けます。

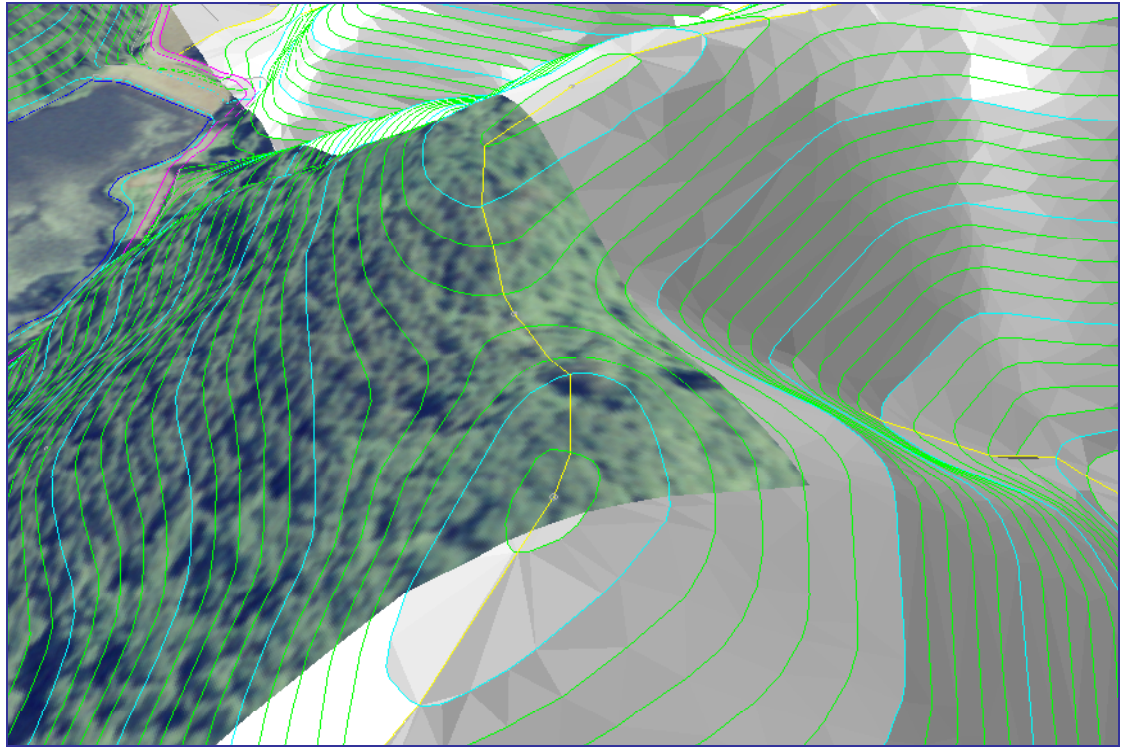
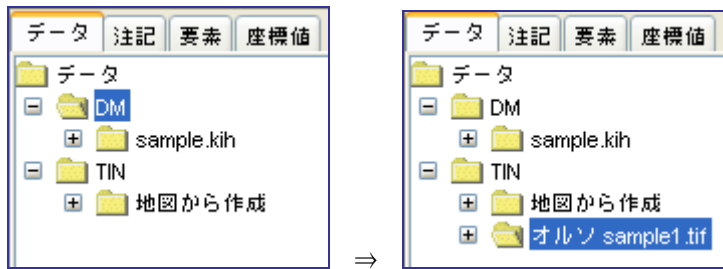
1 sample1.tif	2 sample2.tif
3 sample3.tif	4 sample4.tif

sample.kih の図郭を 4 分割

【高解像度】 オルソ画像をそのまま TIN に貼り付けます。メモリ使用量が大きくなります。

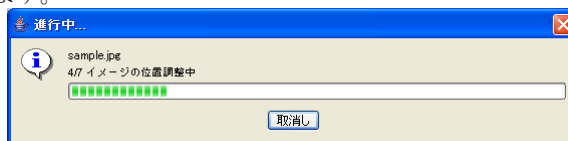
【低解像度】 オルソ画像の縦横サイズが 1024 ピクセルより大きい場合、内部的に画像の縦横サイズを 1024 ピクセルに縮小して表示します。縮小により本来の画像より画質が粗くなります。

オルソ画像を貼り付ける範囲が、TIN の一部になることがあります。オルソ画像の範囲と重なる部分の TIN を切り出して、別の TIN データとして表示、管理します。データパネルには「オルソ」+「ファイル名」を表示します。



図郭の4分の1の範囲にオルソ画像を貼り付けた例。「地図から作成」TINの上側に「オルソ sample.tif」を表示しています。

オルソ張り付けでは、大きなサイズのイメージを扱うことが多いので、大量もメモリを必要とし、また処理に時間がかかります。いくつかの処理(7ステップ)の組み合わせなので、進行中を表すダイアログでは進行状況を正確に表示できません。特に「4/7 イメージの位置調整中」では時間がかかり、処理が止まっているように思われるかも知れません。また「取消し」ボタンを押しても、1ステップが終わるまで待たなければなりません。最初は「低解像度」で試されることをお勧めします。



TIFFを貼り付ける場合、Java2の実行環境に「Image I/O in Java Advanced Imaging」がインストールされている必要があります。これがインストールされていないとTIFFファイルを読むことができません。詳しくはインストール説明書を参照してください。